



やっぱり浦和が一番 市議会議員 (無所属) 川村 準

2023年
5月号



カンパは郵便振替口座:00170-9-386914 名義:やっぱり浦和が一番
連絡先〒336-0017 南区南浦和1-27-11-107
電話番号090-1404-2151 〆:junkawamuraawa@yahoo.co.jp

「政務活動費の廃止」議員が倍増

改革訴え、副議長選挙へ出馬

5月1日と2日、議長や委員会等を決める臨時市議会が開かれました。私は副議長選挙で、議案や請願の採決態度の公開など、議会改革を唱え所信表明演説を行いました。また、市議選では、私と同じ主張の「政務活動費の廃止」の議員が増え、議員特権の解消と市民サービスの充実を強く訴えました。

4月9日に実施されたさいたま市議会議員選挙が終わり、それぞれの議員が所属する会派構成が決まりました。

詳しくは左下の表のとおりですが、自民党は2017年以来、会派が分裂しており、今回も10人と9人の2つの会派に分裂しています。立憲系会派は13人、公明が11人、共産が6人、維新が4人となっています。

一方、選挙以前は基本的に2人しかいなかった無所属が7人になりました。

立憲系、自民、共産の後退に加え、維新という新会派の登場や無所属が増えたことを踏まえ、議会改革を呼びかけるいいチャンスだ

と思い、私は副議長選挙で所信表明演説を行いました。

議員の賛否を公開せよ

訴えた内容は、大きく4点です。まず、議員の採決態度の公開です。議案や請願に賛成した、あるいは反対したという情報を市民に知らせることは当然です。

しかし、さいたま市議会では、議会広報紙「ロクマル」に採決態度は載っておらず、南区では基本的に、私の市政レポートに載っている採決表一覽以外で市民は知ることが出来ません。

厳密には、市議会のホームページで議案の採決態度を見ることが

出来ます。

しかし、市民が出した請願の採決態度は、市議会のホームページにも載っておらず、情報公開が不十分です。

私は過去、さいたま市合併のいきさつを調べた時、過去の議事録を色々閲覧したのですが、議員の採決態度が載っていないため、非常に不十分な調査になってしまいました。

議員の採決態度は、現在いる市民のためにも、未来の市民にも歴史的記録としても、公開すべきです。

その他にも、無所属の発言時間が質疑わずか4分、討論8分と昔より短いこと、会派でも権限の強い「交渉会派」の要件を他市のように基準を低くすべきこと、議案を議員は昔のように誰でも提出できるようにすること、これらの提案を実現することで議会の活性化を訴えました。

結果、既存会派の壁は厚く、神坂達成議員（公明・緑区）の副議長当選となったものの、松村敏夫議員（共産・緑区）を上回る票を獲得することが出来ました。共産党という組織を上回る票を獲得したことは、私の主張が一定の評価を受けたものと思われまます。

その他にも、市議選で、私と同じ「政務活動費の廃止」の主張をする候補者が、大宮（北区）の吉田一郎議員、岩槻の佐藤征治郎議員、与野（中央区）の中山淳一議員と、合併前の旧4市全てで当選したことを受け、早速私は「今年度の政務活動費は受け取らないでください」という請願の紹介議員になり、私は「政務活動費の廃止」を議場で強く訴えました。

議会活動が本格的に始まりました。市民のご期待に応えられるよう、今後も精一杯頑張ります。

	2019年	2023年
立憲系会派	17	13
大宮自民	9	10
浦和自民	14	9
公明	11	11
共産	7	6
維新	0	4
無所属	2	7

川村準は、市長から支給される政務活動費(年間408万円)を受け取らずに活動しています。